

阿賀野市
端末整備・更新計画

令和7年3月31日

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数	2,717	2,664	2,596		
② 予備機を含む整備上限台数	3,124	3,063	1,876		
③ 整備台数（予備機除く）	0	965	1,620		
④ ③のうち基金事業によるもの	0	965	1,620		
⑤ 累積更新率	0%	36%	100%		
⑥ 予備機整備台数	0	144	243		
⑦ ⑥のうち基金事業によるもの	0	144	243		
⑧ 予備機整備率	0%	15%	15%		

（端末の整備・更新計画の考え方）

GIGA第1期更新対象端末台数(台)	3,010
GIGA第2期調達端末台数(台)	2,972

GIGA第1期の更新対象端末のうち1109台は、以下の理由により使用期間5年に満たずに更新する。

5年に満たずに更新する理由	該当台数(台)
学校のICT環境整備については、1人1台端末を含め年次計画で整備を進めており、令和7年度以降もこれにより順次更新の予定である。周辺機器の予備在庫が枯渇してきており、追加整備の必要があるが、旧型機器用の周辺機器を整備してしまうと、無駄が生じてしまうため、段階的に周辺機器含めて新型の機器への更新を行う。	1,109

更新対象端末については、以下の年度に整備する。

令和7年10月～令和7年12月 1,109台整備（うち予備機144台）
令和8年10月～令和8年12月 1,863台整備（うち予備機243台）

（更新対象端末の再使用、再資源化、処分について）

以下の方法にて、更新対象端末の再使用、再資源化、処分を行う。

○ 再使用のスケジュール及び台数

方法	再使用のスケジュール	再使用後の処分スケジュール	台数(台)
学校で再使用	令和8年1月以降 指導者及び多様な学校職員への貸し出し	令和9年4月以降 事業者への使用済み端末の引渡し (約380台×4年)	1,505
その他施設で再使用	令和8年1月以降 生涯学習施設等への貸し出し	令和9年4月以降 事業者への使用済み端末の引渡し (約380台×4年)	1,505

○ 処理委託のスケジュール及び台数

方法	スケジュール	台数(台)
小型家電リサイクル法に基づく認定事業者への処理委託		
資源有効利用促進法に基づく製造事業者等への処理委託		

○ 有償売却のスケジュール及び台数

方法	スケジュール	台数(台)
有償売却		

○ 端末のデータの消去方法

処分事業者へ委託する

○ その他特記事項

なし

（「⑤累積更新率」が令和10年度までに100%に達しない場合は、その理由）

阿賀野市
ネットワーク整備計画

令和7年3月31日

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合

	学校数	総学校数に 占める割合
ネットワーク速度が確保できている学校	11	100%
ネットワーク速度が確保できていない学校	0	0%
帯域測定を実施していない学校	0	0%
総学校数	11	

2. ネットワークアセスメントの実施状況及び実施予定スケジュール

ネットワークアセスメント実施状況		学校数	総学校数に 占める割合
アセスメント必要あり	実施済	0	0%
	未実施	0	0%
アセスメント必要なし		11	100%

2.1 計画策定時点でアセスメント実施済み

(1) アセスメントを実施した時期

--

(2) アセスメントにより特定された課題及びネットワーク速度確保のための改善スケジュール

特定された課題	改善スケジュール

2.2 計画策定時点でアセスメント未実施

(1) 課題特定のためのネットワークアセスメント実施予定時期

--

(2) ネットワーク速度確保のための改善スケジュール

--

2.3 アセスメント実施の必要なし

(1) アセスメントを実施しない理由

各学校における通信の推奨帯域を上回っており、回線速度の低下による支障の報告がないため
--

(2) ネットワーク速度確保のための改善スケジュール

wi-fi第6世代対応のアクセスポイントのリプレースを今後計画する予定

阿賀野市
校務DX計画

令和7年3月31日

1. 校務DX計画

	現状分析・課題	解決策・想定スケジュール				
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
学校における業務のデジタル化	保護者との欠席・遅刻・早退連絡を完全デジタル化している学校は1割程度、児童生徒への連絡をクラウドサービスを用いた配信で半分以上デジタル化している学校は2割程度である。	デジタル化の事例収集、活用方法検討	活用方法の情報発信			
学校設置者における業務のデジタル化	教育に関わる公文書のデジタル化に関する規程を定めていない。	校務事務の在り方検討WG	教育に関わる公文書のデジタル化に関する規定の策定			
次世代の校務デジタル化に向けた環境整備	ネットワーク統合と汎用のクラウドツールの活用を前提とした、パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システムの具体的な導入時期を設定している。	市町村システムとの統合を含めた県の新システム検討・設計				県の新システム導入・運用
生成AIの校務での活用	一部の教職員（半分未満）が生成AIを校務で活用している学校の割合は、3割程度である。	生成AIについての事例収集、活用方法検討	活用方法の情報発信 ※国のパイロット校事業の実証結果等を含む			
クラウド環境を活用した校務DXの推進	教職員が校務用の端末を校外においてクラウドベースで利用できる環境を整えていない。	次期ネットワークの在り方検討	次期ネットワーク設計	ネットワークの最適化・運用		
			次期ネットワーク構成に合わせた教員用端末の検討	次期教員用端末の配置・運用		
Fax・押印の原則廃止、ペーパーレス化、不必要な手入力作業の一掃	Faxを使用していない学校が1割、保護者・外部とのやりとりで押印・署名がない学校が1割、職員会議等の資料のペーパーレス化を実施している学校が2割である。	事例収集と解決策の検討	活用方法の情報発信			

2. 期待される効果

校務で利用する各種システムの活用により校務の効率化が進み、教育データを活用した児童生徒への指導や支援が充実する。 ①統合型校務支援システムなど、校務で利用する各種システムの活用により、校務が効率化され、教員の校務事務が最適化している。 ②教員は、校務データや学習データ等の効率的・効果的な活用により、個々の児童生徒にきめ細かな指導や支援を行っている。
--

阿賀野市
1人1台端末の利活用に係る計画

令和7年3月31日

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿
 - ・児童生徒一人ひとりの学習進度や理解度に応じた個別の学びが可能になり、オンライン教材や学習アプリを利用することで自己学習が促進される。
 - ・ICTを活用した学習やグループワークにより、児童生徒同士の協力やコミュニケーションが活性化する。
 - ・情報収集や分析のスキルを身につけることで、情報リテラシーが向上します。信頼性のある情報を見極め、適切に活用する

2. GIGA第1期の総括

本市の小中学校では国のGIGAスクール構想を受け、学習系ネットワーク・無線LAN環境及び児童生徒1人1台端末の整備が進み、令和4年3月までに完了した。今後は、整備したICT環境を活用し、主体的・対話的で深い学びを通して教育の質を向上させ、児童生徒の資質・能力を確実に伸ばしていくことが求められる。本市の教員が授業中にICTを活用して指導する能力は全国平均並みであるものの、学校間や教員間で意識やスキルに差がみられることから、教員のICT活用指導力の更なる向上が必要である。また、校務の更なるデジタル化により業務の効率化や教育データの利活用を進めることや、現在、校務系と学習系でネットワークが分離されていることにより損なわれている利便性を改善することといった環境面の整備で、現場の負担軽減を図り、教員の力を最大限に引き出すことが必要である。

3. 1人1台端末の利活用方策

前項1「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」の実現のため、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していく。
なお、整備・更新した端末は、以下のような利活用を行う。

項目	K P I	現状値⇒目標値	方策
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	全国 ：73.0%(R4)⇒100%(R6) 阿賀野市 ：72.0%(R4)⇒100%(R6)	研修のニーズの把握、広報活動の充実
	情報通信技術支援員(ICT支援員)の配置	全国 ：5.7校/人(R3)⇒4校/人(R7) 阿賀野市 ：5.7校/人(R3)⇒4校/人(R7)	ICT支援員配置拡充のための予算確保
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	全国 ：小90.6%(R5)⇒100%(R6) 中86.5%(R5)⇒100%(R6) 阿賀野市 ：小94.5%(R5)⇒100%(R6) 中91.8%(R5)⇒100%(R6)	端末活用事例の共有
	デジタル教科書を実践的に活用している学校	全国 ：40.5%(R4)⇒100%(R10) 阿賀野市 ：26.5%(R4)⇒100%(R10)	デジタル教科書の活用事例の共有
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 ：小44.9%(R5)⇒80%(R8) 中36.1%(R5)⇒80%(R8) 阿賀野市 ：小43.4%(R5)⇒80%(R8) 中31.9%(R5)⇒80%(R8)	各校の端末稼働状況のモニタリング、端末の活用状況を各校へフィードバック
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 ：小53.3%(R5)⇒80%(R8) 中49.4%(R5)⇒80%(R8) 阿賀野市 ：小61.5%(R5)⇒80%(R8) 中56.1%(R5)⇒80%(R8)	
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 ：小40.2%(R5)⇒80%(R8) 中34.1%(R5)⇒80%(R8) 阿賀野市 ：小39.0%(R5)⇒80%(R8) 中35.8%(R5)⇒80%(R8)	
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校	全国 ：今後把握⇒100%(R8) 阿賀野市 ：今後把握⇒100%(R8)	第1期整備端末の有効活用及び第2期整備予備機の活用
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校	全国 ：今後把握⇒100%(R8) 阿賀野市 ：今後把握⇒100%(R8)	
	障害のある児童生徒や病氣療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校	全国 ：今後把握⇒100%(R8) 阿賀野市 ：今後把握⇒100%(R8)	